



地域医療連携だより

H19.6
第14号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
TEL.0798-45-6001(地域医療・総合相談センター)



病院長 山村 武平

副院長 島 博基(経費削減担当)
太城 力良(安全管理担当)
谷 澤 隆 邦(診療支援担当)
山 田 繁 代(療養環境担当)

地域医療・総合相談センター長
難 波 光 義

理 念

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

基本方針

- 患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな、優れた医療人の育成
- 高度で、先進的な医療や医学研究の推進
- 健康増進活動による保健・福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

病院長専任のご挨拶



病院長 山村 武平

過去3年間は外科学教授を兼任しながら院長業務を行って参りましたが、今年度からは院長職を専任することとなりました。猫の目のように変わる医療制度改革の渦にめぐることなく、常に患者さんを中心とした地域医療機関のニーズにしっかりと対応できる病院づくり、医療人づくりに努力したいと思っています。これからも宜しくお願い致します。

副院長就任のご挨拶



副院長 島 博基(泌尿器科 教授)

今回副院長に任命されましたので一言ご挨拶申し上げます前に、まず、常日頃から研修医の教育を含めてお世話になっている病院、開業医の先生方にお礼を申し上げます。

最近の医療制度改革の嵐の中で、地域における基幹病院としての当大学病院の役割がさらに重要になってきていることを強く認識しています。今回の医療法の改訂で、明記されている次の事項は、これまでの医療に対する姿勢の転換を示唆する事柄として、特に重要な面を持っています。

重要事項

- 予防の重視 特に、生活習慣病の予防（医療制度改革大綱から）
- 切れ目のない医療 急性期入院から在宅医療まで
- 医業経営の視点 DPCに対する正確な対応
医業としての収益体質への適切な対応（経営資源管理）
人的要素の重要性（有能な臨床医、看護師、薬剤師、技師、事務、補助士の確保と養成）

医療法の改正の最大の目的は、国の医療費の適正化に尽きますが、限られた予算枠の中で、切れ目のない医療と健康管理（予防）を実施するとすれば、病診・病病連携をさらに強化する必要があります。

紹介・逆紹介による医療技術・品質面での中核的役割をさらに増進し、入院期間の短縮などの施策にあわせて、退院後の医療の提供を継続的に行うことができるような方策をとって行かなくてはなりません。

特に、退院後の看護を含めた一貫性のある確実な医療の継続は必要です。さらには、在宅医療の提供まで患者さんの生活環境の質の向上を考慮した対応が望まれます。これらを円滑に実施するためにも、プライバシーに注意しながら患者さんの情報の共有化を積極的に進めて行くつもりです。

非常に厳しい医療環境の中で、平均在院日数を適正にしながら地域の中核病院としての役割を果たすためには、病院内外の医師を始めとする医療従事者のご協力が必要不可欠です。

いろいろと不備な点については忌憚なくご指摘下さい。

速やかに問題点を改善しながら共存共栄を目指します。ご指導をよろしくお願いいたします。

新任教授の紹介



外科学 富田 尚裕

関西労災病院、消化器外科部長から、4月1日付けで第2外科山村武平教授の後を受け兵庫医科大学外科学講座教授として赴任いたしました。昭和55年に大阪大学医学部を卒業後、同大学第2外科（現、消化器外科）に入局し、下部消化管グループでの講師、グループチーフを経て、平成11年から関西労災病院外科に7年半勤務の後、今回の着任となりました。

阪大時代から一貫して大腸癌の診療・研究を専門とし、中でも手術・化学療法および緩和ケアをも含めた集学的治療、下部直腸癌に対する肛門温存手術、また遺伝性大腸癌などについて先進的に取り組んで参りました。

本学の外科は、4月1日から第1外科（藤元治朗教授）と第2外科が一つになって外科学講座となり、今後、臓器別診療体制に再編していく予定ですが、当面は旧講座での診療体制が継続され、小生の第2外科は、上部消化管、下部消化管（大腸癌および炎症性腸疾患）および乳腺・内分泌の領域を中心に担当いたします。

現在、大学および公的病院における外科診療は、年々にわたる外科医の減少、求められる高度医療と過重勤務の医療現場とのギャップ、政府の医療費抑制政策の影響などにより、危機的状況にあります。その観点から、大学においては、教育・研究という大学独自の役割を果たすことはもとより、実地臨床の面でも、大学病院としての最先端の医療と平行して、近隣や他府県の医療施設との病病連携、病診連携を促進して効率的な医療ネットワークを構築することが急務であると考えています。

関西労災病院勤務の間も尼崎市を中心に近隣の先生方から多くの大腸癌患者さんのご紹介をいただきましたが、今後とも阪神間の諸先生方のご指導、ご協力を切にお願い申し上げます。



放射線科学 廣 田 省 三

平成19年4月1日付けで中尾宣夫教授の後任教授として放射線医学教室を担当させて頂くことになりました。

私は、昭和53年神戸大学を卒業後、放射線医学を志し、CT、MR、USなどの腹部画像診断を中心に診療と研究を行い、さらに、IVRと呼ばれるカテーテルを用いた種々の治療を専門としてきました。細いカテーテルを魔法のように操り、病変をまるで外科手術のように治療し、しかも侵襲度が低く、翌日は歩行出来る治療に魅了されました。以来IVRをライフワークとするようになり、肝癌の化学塞栓療法、リザーバー動注療法をはじめ、動脈瘤の塞栓療法、腸骨動脈などのステント留置による血管形成術などを行い、さらに門脈圧亢進症による胃静脈瘤のカテーテル治療(B-RTO)も日本で最多症例数を手がけるようになりました。

近年のCTやMRIなどの画像診断の進歩により、病変は高精細で3D画像として立体的に描出され、そして専門の放射線科医により高度の診断がなされ、画像診断はまさに臨床を支えています。高精度治療によるがん放射線治療も放射線医学の一方の華として、地域がん医療の柱の役割を担っています。

当科は、幸いにもこれらの全てを最高のレベルで提供出来る臨床的な実力を有しています。

先生方におかれましても、画像診断、IVR、放射線治療の相談は、いつでも受け付けておりますので、ご紹介くだされば幸甚に存じます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

治験センターの開設



治験管理室は、平成19年4月から治験センターに名称変更になりました。これにより、治験センターでは院内における治験の適正かつ円滑な実施を推進し、治験の活性化を図り、また、将来的には地域における治験ネットワーク化を図ることを推進していきます。

治験センターは、センター長には佐野統教授(内科リウマチ・膠原病科)、副センター長には門林宗男薬剤部長が就任され、組織としては、治験支援課(治験コーディネーター)、治験事務課、治験薬管理室(秋を目処に開設予定)の3部門から構成されています。

当院では、治験の実施にあたっては、ヘルシンキ宣言の精神を尊重し、「医薬品の臨床試験の実施に関する基準(新GCP)」に基づく「兵庫医科大学病院医薬品等臨床研究受託に関する規程」等に従い、被験者の安全性を考慮し、被験者の人権・福祉を最優先としております。これに基づき、治験センターでは、安心して使うことができる「薬」が生まれるために、被験者の安全を第一に考えながら、『治験』が適切に行われるよう支援しています。

また、臨床試験(治験)が倫理的な配慮のもとに科学的かつ適正に実施されるために「兵庫医科大学病院臨床研究審査委員会規程」に基づき兵庫医科大学病院臨床研究審査委員会(IRB)を設置しています。臨床研究審査委員会は、兵庫医科大学病院と利害関係を有しない委員を含む13名の委員から成り、本年2月からは原則月1回第3火曜日に開催しています。

現在、実施している治験は、内科、精神科・神経科、整形外科、ペインクリニック部等各診療科で行っております。治験に参加していただける方があれば治験センターまでお問い合わせ願います。(ただし、健康な方のボランティア対象の治験は行なっておりません。)

1. 治験センターの業務

- 1) 治験・製造販売後臨床試験等の手続き業務
新規治験契約件数は38件(平成18年度実績)、継続して行っている治験件数は、月間平均で約50件
- 2) 臨床機器臨床試験の手続き業務
- 3) 臨床研究の手続き業務
- 4) 製造販売後使用成績調査、医療機器製造販売後使用成績調査、製造販売後特定使用成績調査・副作用報告
- 5) 治験コーディネーター (CRC) 業務

専任の治験コーディネーター (CRC) 4名が配属されており、治験、製造販売後臨床試験、多施設共同臨床試験を担当しております。主な業務としては、治験に関する相談窓口、同意説明の補助、治験スケジュールの管理、被験者のケア、症例報告書の作成補助、依頼者と医師、その他関連部署との調整等治験が円滑かつ倫理的、科学的に行われるよう日々活動しています。

2. 臨床研究審査委員会事務局業務・医療機器臨床研究審査委員会事務局業務

- 1) 臨床研究審査委員会の運営開催に伴う業務(毎月1回第3火曜日開催)
- 2) 医療機器臨床研究審査委員会の運営開催に伴う業務

治験センターの場所と連絡先

場所 2号館1階東側 電話0798-45-6006 FAX 0798-45-6974

市民健康講座のお知らせ

開催場所：兵庫医科大学 第3会議室(10号館3階)

開催時間：午後3時～4時30分 参加費無料・申込不要(定員60名)

どなたでも、ご自由に参加できますので、どうぞ受講下さい。

○お問い合わせ先：0798-45-6035 (ダイヤルイン)

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター

開催日	テーマ	講演者
6月13日(水)	メタボリックシンドローム ～あなたは大丈夫ですか?～	内科 糖尿病科 教授 難波光義
6月27日(水)	手術を受ける患者さまへ	麻酔科 学内講師 下出典子
7月11日(水)	気管支喘息のお話	内科 呼吸器・RCU科 学内講師 栗林康造
7月25日(水)	心臓の手術について	心臓血管外科 准教授 光野正孝
8月8日(水)	脳卒中とは	内科 神経・脳卒中科 学内講師 高岡俊雄
8月22日(水)	歯の根が生み出す全身の病気	歯科口腔外科 学内講師 長谷川誠実

◆編集・発行

平成19年6月1日

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL 0798-45-6111 (大代表)

0798-45-6001 (地域医療・総合相談センター)

FAX 0798-45-6002 (紹介予約専用) <http://www.hyo-med.ac.jp> (ホームページアドレス)

表紙の写真：季節の花・花菖蒲 (編集者撮影)